

総合C班 中学部

教科・場面

総合

授業・実践のねらい

- ・作品作りを通じて、友だちと協力する意義を学ぶ。
- ・撮影するCMを自分で選ぶことで、能動的な意見を増やし、受け身な姿勢を変える。

対象の児童・生徒

2年
女子二人 男子一人

3年
女子一人 男子二人

教材・教具

撮影用 iPad
スライド用 iPad
CM 作成用小道具

友だちと一緒にアイデアを出せるように、具体的な指示と質問を行う。

授業展開・教材の使い方・実践の内容

① 挨拶、授業内容の説明、前回の振り返り

・先週までに作成したCMの箇所を確認する時間を設け、今回撮影する場面をスムーズに理解できるようにする。

② CM撮影

- ・選んだCMでグループを組んで2班に分かれ、『カメラマン』と『役者』を、20分ずつ交代で取り組む。
- ・撮影する前に動きやセリフを覚える時間設け、リラックスして演技に取り組めるようにする。

③ まとめ

・両方のグループの進捗状況を確認し、次回の予定を立てる。

CM撮影では、CMは個人で選び、工夫したい点などは積極的に反映する。個人の能力を明確にし、難しいシーンをどのように撮影するのか、意見を出し合うことが大事である。

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・完成が待ち遠しく、徐々に作られるCMに喜ぶ生徒が多い。また、当初は撮影を嫌がっていた生徒も、カメラマンとしての体験を通じて、撮影に対しての意識が大きく変わった。
- ・撮影したCMについては、保護者の方に見てほしいという生徒の意見が多くあった。作品展や懇談を通じて、生徒の努力を反映できる工夫も必要。